

2020 年度

とちぎメディカルセンターしもつが地域医療支援病院運営委員会議事録

開催日 令和2年5月22日（金）

時 間 13：30～14：30

場 所 とちぎメディカルセンターしもつが
2階講堂

コロナウィルスによる感染防止の為5月委員会は書面会議とした。

3/11、各委員へ中止を電話連絡し5/14 委員会資料を各委員へ送付し、委員会の代替えとした。

2020 年度

とちぎメディカルセンターしもつが地域医療支援病院運営委員会議事録

開催日 令和2年9月25日(金)

時間 13:30~14:30

場所 とちぎメディカルセンターしもつが
2階講堂

出席者 下都賀郡市医師会副会長・下都賀歯科医師会会長・栃木地域薬剤師会会長
栃木県県南健康福祉センター所長・栃木市保健福祉部健康増進課課長代理
栃木消防本部消防長代理・栃木市消防本部警防課長
しもつが院長・副院長・事務部長・総合連携推進本部副本部長・看護部長・地域医療連携室長

1. 開 会 事務部長
新任外部委員紹介
新任内部委員紹介

2. 挨拶 院長 中間 季雄

3. 議 事

(1) 2020 年度実績について

1) 救急医療の実績

-) 資料より説明。2,020年8月現在の救急患者受入総数2,313人、救急車受入総数1,123人中、入院は487人、入院率43.4%です。自家用車来院受入数1,190人中、入院209人、入院率17.6%です。ひと月の約20日間が当番日で、当番日と当番日外に分けて集計しています。参考資料として昨年度分もご参照下さい。昨年度と比較すると同時期に於いては約600件の減少となっています。新型コロナウイルス感染症による医療機関の受診を控える現象によるものと思われる。救急受入れ困難数の内訳について説明。救急受入れと受入れ困難件数は、多くの発熱患者依頼の対応により、救急部では新型コロナウイルス感染症疑い患者の依頼の場合、隔離対応が必要となり、救急車依頼の減少の他、隔離を要する患者重複の場合に受入れ困難となった様です。腹痛や骨折などの症状でも発熱症状のある患者さんは、個室対応でCT、PCR検査、抗体検査を実施し、感染症が否定されてから該当科に受診する流れになる為、発熱患者重複による救急対応困難となっています。
-) この時期、医療機関全体の受診が減っていると思いますが、救急車の出場件数も減少していますか。
-) 原因について新型コロナウイルス感染症が関係しているかは、分かりかねますが出場件数は減っています。
-) 正確なデータは持参していませんが、昨年、一昨年の同時期と比較しても減少している傾向にあります。年間を通して救急要請が増えるのは、熱中症の時期です。

中間) 救急患者受入れ減少同様、一般外来への受診者も2割程度減少している様ですが、9月に入り、いつもと同様の受診数に戻りつつある印象です。8月の救急患者については重症患者が多かつ

た為に、重複による対応困難数が多かったとの報告を受けています。

2) 紹介患者に対する医療の実績

-) 資料より説明。2,019年度累計紹介率62.5%、逆紹介率78.6%でした。2,020年度累計紹介率68%、逆紹介率83.6%です。8月は紹介率62.4%、逆紹介率70.1%です。要件はどちらもクリアしていますが、8月逆紹介率が下がっている理由について正確な分析はできませんでしたが、診療所から発熱外来への紹介が多くあり、検査実施をして結果報告の返書のみとなる為、逆紹介とはならないケースが多かったのも反映していると考えられます。ご紹介ありがとうございました。

3) 研修会について

-) 資料より説明。2,019年度の院外研修会は12回実施しました。院外476名、院内167名、総数643名の方に参加して頂きました。今年度は、当院が第二種感染症指定医療機関であることもあり、現在まで実施できていません。今後は感染状況を踏まえて開催を計画しています。
-) 他の病院ではWeb研修会などを実施しているところが多くなっていますので、外部の医師や、院内スタッフの参加方法を工夫し、地域の要として検討してはいかがでしょうか。
-) 現在、【Zoom】を利用したWeb会議や【Google Meet】のWeb会議の準備を整えており、近日中に少人数から開催してみようと考えています。医師会の先生方には部門ごとに研修会を依頼する予定です。

4) 共同利用実績について

-) 資料4より説明。
2,020年8月現在の共同利用総件数は856件です。新型コロナウイルス感染症による依頼数の減少や受診を控える患者さんが増加して検査のキャンセルがあり、かなり低い件数になりましたが、7月以降徐々に増えてきています。
-) CT、MRの予約は現在、どの様な状況ですか。
-) MRの依頼がかなり多く、連日一日8件埋まっている状態で、CTについては一日約2件で多少の余裕がある状態ですが、CT、MR合わせて一日午後2時から10件から12件の対応となっています。診察、CD-Rの作成と読影報告書作成もあり、件数としては充実しています。

(2)その他

特になし

(3)次回開催について

2020年12月18日(金)午後13時30～予定

2020 年度

とちぎメディカルセンターしもつが地域医療支援病院運営委員会議事録

開催日 令和2年12月18日(金)

時間 13:30~14:30

場所 とちぎメディカルセンターしもつが
2階講堂

出席者 下都賀郡市医師会副会長兼栃木市医師会会長・下都賀歯科医師会会長・栃木地域薬剤師会会長
栃木市保健福祉部健康増進課課長・栃木市消防本部消防長代理出席・栃木市消防本部警防課長
しもつが院長・副院長・事務部長・総合連携推進本部副本部長・看護部長・地域医療連携室長

1. 開 会 院長 中間 季雄

2. 挨拶 院長 中間 季雄

3. 議 事

(1) 2020 年度実績について

1) 救急医療の実績

) 資料より説明。2,020年11月現在の救急患者受入総数3,789人、救急車受入総数1,888人の内、入院は810人、入院率42.9%です。自家用車来院受入数1,901人の内、入院323人、入院率17%です。当番日と当番日外に分けて集計しています。前年度分は比較資料としてご覧ください。救急受入れ困難件数は、現在発熱患者さんの依頼が多く、対応にはかなりの時間を要する為、他症状の患者さんの受入れ困難に繋がってきている状態です。COVID-19 抗原検査の陰性を確認してから、該当科の診察になるまでの経過は現在も継続中なので、重複の対応が困難となっています。病状により、三次救急や専門医での対応が望ましく受入れ困難となった事例も多くなりました。

中間) 全体的に救急搬送の件数は新型コロナウイルス感染症の影響なのか、2割程度減少していると聞いていますが、実情はどうですか。

) 救急車出場件数については、一昨年をピークとして、昨年は若干減少しています。今年度は昨年と比較して682件の減少となっています。全国的にも減っている様ですが、救急車の適正利用の全国的なPRが浸透した為なのか、外出自粛によるものなのか様々な状況が重なり合っている現状と思いますが、明確な原因はわかりません。

2) 紹介患者に対する医療の実績

) 資料より説明。2,020年11月現在では、紹介率68.5%、逆紹介率82.6%です。要件はどちらもクリアしています。外来受診患者数は全体的に減っていますが、紹介状持参による初診患者さんが増えたことにより紹介率が安定している様です。ご紹介ありがとうございました。

中間) ウォーインでの紹介状を持参しない患者さんが減り、初診時には紹介状を持参して受診する傾向になってきたことが紹介率の増加に繋がったと考えられます。

3) 研修会について

) 資料より説明。前回9月の委員会にて報告させていただいた通り、上期は様々な研修会が中止となりました。10月よりWebでの研修会を実施し、院外49名、院内16名、総数65名の方に参加を頂きました。今後も施設職員に向けての感染対策についてなどの研修会の依頼が多き

ていますので、計画的に研修方法を検討しながら、行なっていきたいと思います。今年度の市民公開講座は全て中止となりました。

中間) 地域住民向けの公開講座の開催は現在、なかなか難しい状況が続いています。

-) 活字を読むより動画での講座の方が個人の時間を使って行えるので受け入れやすいのではないのでしょうか。
-) 実際、年間に3回実施している、「あじさいの会」ではとちぎTVに編集込みで依頼し君島歯科医院院長の講義を12月10日に撮影し、1月に会員に向けて動画配信される予定です。
-) 連携推進本部と連携し、今後は動画配信などの方法も検討したいと思います。
-) 現在は、集会による講座や研修会は難しい状況なので、方法を検討し住民への周知を考えていきます。

中間) 研修医による病院紹介や、整形外科医による野球肘のリハビリ方法などもチャレンジすると良いと考えています。

4) 共同利用実績について

-) 資料4より説明。

2,020年11月現在の共同利用総件数1,449件です。昨年10月よりCT、MRIを医師会診療所から引き継がれて受けています。超音波による頸動脈エコーや骨密度も多くご利用頂いています。現在、内視鏡の依頼については感染防止の為、二週間の検温と健康観察をお願いしてその後検査を実施しています。

-) 現在、MRIの予約枠には連日8割ほど予約が入り、非常に忙しくなっている状況です。

(2) その他

特になし

(3) 次回開催について

2021年3月12日(金) 午後13時30～予定

2020 年度

とちぎメディカルセンターしもつが地域医療支援病院運営委員会議事録

開催日 令和3年3月12日(金)

時間 13:30~14:30

場所 とちぎメディカルセンターしもつが
2階A会議室

出席者 下都賀郡市医師会副会長兼栃木市医師会会長・下都賀歯科医師会会長・栃木地域薬剤師会会長
栃木県南健康福祉センター所長
栃木市消防本部消防長(代理出席あり)・栃木市消防本部警防課長
しもつが院長・副院長・事務部長・総合連携推進本部本部長代行・看護部長・地域医療連携室長

1. 開 会 院長 中間 季雄

2. 挨拶 院長 中間 季雄

3. 議 事

(1) 2020 年度実績について

1) 救急医療の実績

) 資料より説明。2,020年2月現在の救急患者受入総数5,251人。内訳は救急車受入総数2,651人中、入院は1,127人、入院率42.5%です。自家用車来院受入数2,600人中、入院442人、入院率17.0%です。当番日と当番日外にも分けて集計しています。前年度の同月と比較して救急患者受入れが20%の減、救急車の受入れ数は15%の減となっています。救急車受入れ困難事由の12月以降のその他の詳細は、3次救急への搬送が望ましいとされたケースや、救急部が発熱患者対応中で、コロナ関連の感染症検査が時間を要することにより、受入れが困難となった件数も多くありました。他には、小山、石橋、佐野の救急隊からの依頼があり、先ず、管轄地区に相談後、受入れ困難時に再度連絡をとお断りしたケースも多かった様です。

中間) 12月頃から発熱外来など色々なメディカルチェックが始まり、救急患者の重複もあり、受入れ困難が多くあった様です。

) 救急車の受入れについてですが、8月は熱中症や脱水などの症状での受入れが多くなる時期ですが、9月と12月の救急患者数が増えている理由が何かわかりますか。

) 明確な理由についての報告は無く、特に調べていませんでしたので、救急隊で何か情報がありますか。

) 例年の状況では、7月、8月は熱中症が多く、12月、1月はインフルエンザの流行による搬送がありますが、今年度については、熱中症は昨年同様ですが、9月は殆どなく、インフルエンザの流行は無く、12月の寒い時期は他の季節と比較すると搬送が多くなる傾向ですが、極端な搬送増加はありませんでした。

中間) 当院での外来受診患者数が9月はかなり多くなり、それに伴い入院患者数も多かった時期なので、全体的に9月に増加したものと考えられます。

2) 紹介患者に対する医療の実績

) 資料より説明。2,020年2月現在では、紹介率67.7%、逆紹介率81.3%です。要件はどちらもクリアしています。全体的な受診患者数は減少しましたが、分母の初診者数も減少傾向となり、通年通りの紹介率となっています。ご紹介ありがとうございました。

3) 研修会について

-) 資料より説明。2,020年度の上半期ほとんどの研修会が中止となり、10月以降Webでの研修を開催しました。医療者向けの研修会は5回実施し、院外394名、院内26名、総数420名の方に参加を頂きました。1月以降、院内で感染対策による規制がかかり、リモートによる研修会の開催が中々できませんでした。今年度は研修の見直しを行い、定期開催に繋がる様、計画的に対策を考えたいと思います。

4) 共同利用実績について

-) 資料4より説明。
2,020年2月現在の共同利用総件数は2,002件です。CT、MRIが連日、多くの依頼をうけています。超音波や内視鏡検査については、診療所の定期的な検査としての依頼を頂くことが多いのですが、コロナの影響により検査の見送りが多くありました。
-) CT、MRIについては連日、数多く御依頼頂いており、非常に忙しくなっている状況です。整形外科の診療所からのMRIのご依頼が多く、次に頭部MRIのご依頼となっています。

(2)その他

-) 県南健康福祉センター管内でのコロナの状況ですが、1月がピークで、2月後半から3月前半については比較的、落ち着いてきていると考えます。しかし、ここ数日では県内においても県南地区管内での件数が多く報告されています。実態としてはひとつの企業の敷地内に多くの工場があり、クラスターとまではいきませんが、少しずつ広がった様です。基本的には正社員には少なく、下請けや派遣社員に多い外国人の陽性者が多数報告されています。劣悪な居住環境の中での接触による感染が考えられますが、現在は少しずつ改善されてきています。本日の陽性者の報告では、症状は軽度ですが、栃木市内の南米系外国人の家庭内でのパーティーによる10名の感染者が出ました。今後は親族間の広がりから他への2次感染なども予想されます。関西や埼玉で増えてきている変異株については最初の1件のみで栃木県内での報告は今のところありません。社名の公表はしていませんが、このような実態です。
-) 介護施設での感染などは現在、どの様な状況でしょうか。
-) 2月末から、県内の高齢者施設、障害者施設、介護系施設で検査を実施しています。抗原検査陽性の場合にはPCR検査まで行っています。現在のところ陽性者は出ていません。職員から陽性者が出た施設については新規の入所者は受入れないように指導しています。又、政府の取り組みで、2月22日頃から宇都宮駅や大学構内などに検査スポットを用意して、医療機関ではないところで、大勢の方が検査を実施できる様にしていますが、今のところ陽性は確認されていないようです。県内の重症者や死亡者の報告については昨年12月頃から重篤な状態の方で、直近の陽性者の症状は軽度なものと聞いています。今後も家庭内、職場内での個々の予防の徹底をお願いしたいところです。

(3)次回開催について

2021年6月11日(金)午後13時30～予定

2020年度患者相談の実績

1. ケースの人数

区分	件数
総数	7,010
実人員	457
新規	417
継続	6,593
継続実人員	405

2. 対象者

区分	件数
入院	5,664
外来	1,261
自宅	17
その他	68

3. 住所

区分	件数
栃木市	4,214
大平町	771
岩舟町	411
藤岡町	559
都賀町	356
西方町	92
壬生町	101
小山市	106
その他	400

4. 相談方法

区分	件数
面接	446
電話	3,622
訪問	7
文書	6
来所	214
その他	2,715

5. 相談者

区分	件数
本人	688
家族	1,115
院内職員	2,711
行政機関	588
施設・医療機関	1,310
居宅支援事業者	485
その他	113

6. 相談内容

内容	件数
経済的な問題に関すること	70
退院に関すること	586
障害者支援に関すること	14
行政との連携に関わること	466
治療の問題に関わること	90
カンファレンス	56
その他	5,728